

日本行政学会総会・研究会 2020-年

2020 年度研究会・総会（オンライン）

2020 年 5 月 23 日～24 日に岡山大学で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染防止のために対面での開催を断念し、以下のような形での初のオンライン開催となった。

総会開催日：5 月 23 日

論文公開開始日：5 月 23 日

会員からの質問・コメント受付期間：5 月 23 日～27 日

報告者からの応答・司会者によるまとめの公開開始日：6 月 2 日

公開の終了日：6 月 14 日

共通論題Ⅱの公開期間：8 月 26 日～9 月 8 日

■ 共通論題Ⅰ「比較の中のアジアの行政」

【報告者】

Alex Brillantes (University of Philippines) “Public Sector Reform in Southeast Asia: Trends, Issues, and Directions.” (報告論文は Karl Emmanuel V. Ruiz との共著)

Sang-Chul Park (Korea Polytechnic University) “Decentralization Reform under the Global Economic Crisis in South Korea.”

大山耕輔 (慶應義塾大学) 「行政信頼に対するプロセスと成果の関係—日本・韓国・フィリピンを中心に—」

【討論者】 工藤裕子 (中央大学)

【司会者】 北村亘 (大阪大学)

■ 分科会 A1「政官関係」

【報告者】

河合晃一 (金沢大学) 「公務員制度改革をめぐる政官関係」

池田峻 (京都大学大学院) 「乖離した日本の政官関係—国会会議録を用いた量的テキスト分析による理想点推定—」*

竹本信介 (立命館大学) 「現代日本外交への視座—外務省の自立性を考える—」

【討論者】 高安健将 (成蹊大学)

【司会者】 高安健将 (成蹊大学)

■ 分科会 A2「食品ロス・廃棄物の削減政策」

【報告者】

岩波祐子 (参議院内閣委員会調査室) 「イタリア食品廃棄物削減政策の展開—2016 年法を中心に—」

澤俊晴 (山陽学園大学) 「自治体における食品ロス対策の執行問題—岡山県内市町村の状況—」

【討論者】 藤井誠一郎 (大東文化大学)・森道哉 (立命館大学)

【司会者】 森道哉 (立命館大学)

■ 分科会 B1 「行政とコミュニティ政策」

【報告者】

日高昭夫（山梨学院大学）「基礎的自治体と町内会自治会のインターフェイス―「行政協力制度」をめぐるいくつかの論点」

栗本裕見（大阪市立大学）「自治体改革の中のコミュニティ施策―大阪市における地域活動協議会の導入とその実態より―」

澤田道夫（熊本県立大学）「地縁組織の潜在的な重要性とその活性化に関する考察」

【討論者】 嶋田暁文（九州大学）

【司会者】 森裕亮（北九州市立大学）

■ 分科会 B2 「行政責任」

【報告者】

北川雄也（同志社大学）「人権行政における責任確保の方法―障害者の人権保障を対象とした考察―」

湯浅孝康（大阪国際大学）「地方自治体における人事評価と行政責任―京都市の事例を手がかりに―」

【討論者】 安岡正晴（神戸大学）・松岡京美（京都府立大学）

【司会者】 松岡京美（京都府立大学）

■ 共通論題Ⅱ 「事故調査と学習：福島第一原子力発電所事故調査報告書とその後のフォローアップを素材として」

【報告者】

荻野徹（原子力規制庁長官）「原子力規制委員会の現状と課題―現状肯定の欲求との戦い―」

【パネリスト】

畑村洋太郎（株式会社畑村創造工学研究所）「福島原発事故に学ぶ―“あり得ることは起こる”と考えよ―」

黒川清（政策研究大学院大学）「「国会事故調」の意義と日本の課題」

城山英明（東京大学）「原子力安全規制行政における能力構築の試みと課題」

【パネルディスカッション・ファシリテーター】 城山英明（東京大学）

【司会者】 益田直子（拓殖大学）

■ 分科会 C1 「自治制度」

【報告者】

朴相俊（大阪大学）「47都道府県と地方自治―市町村への権限移譲に見る制度運用の比較研究―」

須川忠輝（大阪大学大学院）「広域自治体の新設と政府間関係―中東欧における地方政府の重層化の制度設計―」

陳建仁（東海大学・台湾）「連携中枢都市圏における自治体の協働とその課題」

【討論者】 木村俊介（明治大学）

【司会者】 木村俊介（明治大学）

■ 分科会 C2 「ダイバーシティと行政」

【報告者】

小林慶太郎（四日市大学）「LGBTと行政—どのような政策が求められ、決定・実施されているのか—」

【司会者】清水唯一朗（慶應義塾大学）

■ 分科会 C3 「行政における学習・教訓導出」

【報告者】

田中啓（静岡文化芸術大学）「行政組織における評価と学習・教訓導出の連結—評価学の観点から—」

安達卓俊（海上自衛隊幹部学校）「基礎自治体防災担当者たちの「不安」と「迷い」—求められる対応と責任をめぐる背景と内実に着目して—」

【討論者】木寺元（明治大学）

【司会者】木寺元（明治大学）

■ 分科会 D1 「地方議会と行政」

【報告者】

辻陽（近畿大学）「自治体の規模と地方議会の機能—政策論争か普遍的代表性か—」

竹中勇貴（京都大学大学院）「日本の都道府県における議案形成過程の集権化と執政・議会関係」

【討論者】土山希美枝（龍谷大学）

【司会者】土山希美枝（龍谷大学）

■ 分科会 D2 「公共事業」

【報告者】

渡邊有希乃（早稲田大学大学院）「“似て非なる制度” 併存の背景—日本の公共工事調達における低入札価格調査制・最低制限価格制を題材に—」

【討論者】野田遊（同志社大学）・宇野二郎（横浜市立大学）

【司会者】野田遊（同志社大学）

■ 分科会 D3 「行政組織」

【報告者】

寺迫剛（行政管理研究センター）「中層官庁は生き残れるか—ドイツ、テューリンゲン州の TLVwA—」

小林悠太（広島大学）「中央行政機構の断片化と政策調整—政府中枢拡充の再解釈に向けて—」

前田貴洋（東京都立大学）「戦後日本の労働基準監督行政組織の成功と挫折—組織的一体性の獲得と専門性獲得の失敗」

【討論者】市川喜崇（同志社大学）飯尾潤（政策研究大学院大学）

【司会者】市川喜崇（同志社大学）

■ ポスターセッション 「行政研究のフロンティア」

【報告者】

山田健（北海道大学大学院）「中央 - 地方関係における地方自治体の動向の再検討：出先機関との関係性

を中心に」

成鎮宇（京都大学大学院）「介護サービス事業者に対する事後コントロールの政策効果」

西田奈保子（福島大学）・大谷基道（獨協大学）・西出順郎（明治大学）「応援職員の派遣に戦略性はあるのか」

三谷宗一郎（医療経済研究機構）「医療政策の形成・非形成に関する研究—組織学習概念に基づく分析枠組の提示」

稲垣浩（國學院大學）「戦後初期自治体職員人事の制度形成と実態」

松井望（東京都立大学）「制度改革以降の都区間協議—児童相談所の移管・設置論議を対象に一」

林嶺那（福島大学）・深谷健（武蔵野大学）・箕輪允智（東洋大学）「公務員の仕事観をどのように把握するか—日本の行政研究における Q 方法論（Q Methodology）の可能性」

砂金祐年（常磐大学）「原発再稼働は NIMBY か？—市町村議会意見書の分析を通じて—」